



国際会長主題 「より良い明日のために今日を築こう」 (Building today for a better tomorrow) Jennifer Jones (オーストラリア)

アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題
東新部部長主題
クラブ会長主題

「アクション」 (Action)
「勇気ある変革、愛ある行動！」
「心を尽くして、YMCAのために」
「クラブライフを楽しもう」
Enjoy your club-life!

田中 博之 (日本)
山田 敏明 (十勝)
小川 圭一 (東京世田谷)
朝倉 正昭 (東京世田谷)

会長 朝倉 正昭
副会長 松井 直樹
書記 松井 直樹

2019年11月会報

強調テーマ
* ワイズ理解 *
ファミリーファスト

会計 小原 武夫
直前会長 寺門 文雄
担当主事 池田麻里子

† 今月の聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
どんなことにも感謝しなさい。
これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたが
たに望んでおられることです。
Be joyful always, pray at all times, be thankful
in all circumstances.
This is what God wants from you in your life in
union with Christ Jesus.

新約聖書 テサロニケの信徒への手紙
5章 16-18節 (小川 選)

- | | |
|---------------------------|---------|
| 司会 | 寺門 文雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 朝倉 正昭会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 朝倉 正昭会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | |
| 食前の祈り | 小川 圭一 君 |
| 5. 会食 | |
| 6. 卓話 ドイツ・多世代交流型「シェア・ハウス」 | 松井 直樹 君 |
| 7. ハッピーバースデー | なし |
| 結婚記念日 | なし |
| 8. ニコニコ献金 | |
| 9. 諸報告 | |
| 10. 閉会点鐘 | 朝倉 正昭会長 |

※ 11月例会プログラム

とき 11月15日 18:30~20:30
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

10月のデータ	会員在籍 11名	例会出席者 10/18日(金)	10月のBF 切手 0g 現金 円 累計切手 0g	ニコニコファンド 10月 7,901円 年度計 25,101円
	出席率 100%	会員 10名 メネット 0名 メイキャップ 1名 ゲスト 0名 ビジター 2名 合計 13名		
第2例会 10/24日(木) (10名出席)	朝倉、岩崎、小川、小原、川嶋、寺門、張替、松井、村野、池田 (太田ビジター)	すずらん会参加者 10/24日(木)	東京世田谷ワイズメンズクラブは 2018年10月31日 社団法人日本 キリスト教海外医療協力会(JOCS) に年会費10,000円を納入し継続しま した。	注: JOCS 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティコンサート ではかねてよりJOCSへの応援を行っ ている。 使用済み切手とワンコインの 献金など。
		ゲスト 47名 スタッフ 15名 合計 62名		

※ 本日のメインプログラム

今年の6月10日から16日まで、トラベルパートナーズ社と協力して弊社企画のドイツ研修ツアーが行われましたのでそれを順次ご紹介します。

概要は、ドイツの特徴的な高齢者福祉事情やボランティア思想、社会保険制度の原点、多世代型交流住宅などです。

松井直樹会員により、高齢者対策について示唆に富んだお話が伺えることでしょう。

※ 10月例会報告

東京世田谷クラブ10月の例会は、台風で順延になった東新部・部大会の開催に係る準備会となりました。登録したが、不参加になる方と、NGだったが11月3日なら参加します！という方の確認と、料理の出し方から、乾杯音頭取りをお願いする方まで・・・おもてなしは大変です。

来年は出来ない！部長を出すことの面白さを感じる事が出来たらいいなと考えながら。 (小川 記)



※ 第2例会(10月24日)打ち合わせ事項

1 11月ブリテンについて:

原稿締め切り日と印刷日を決める
締め切り日: 11月2日(土)まで
印刷日: 11月5日(火) 16:00~

2 報告事項:

10月の例会プログラムについて
小川 圭一 君
10月20日(日)バザーについて
小原 武夫 君
希望ヶ丘保育園「ねがい」の件。
友の会と共に10月28日(月)14:00~
現地集合(雨天決行)
その他について

台風19号・15号被災地支援の件

*11月プログラム

司会 寺門 文雄 君
反省会、ドイツの多世代型交流住宅など

3 協議事項

小川東新部部長での体制作りへの取り組み

11月3日部大会の実行について(銀座ライオン)
大会の業務分担とスケジュールを確定する。
受付などのスタッフのお手伝いをお願いする件。
当日のユースの参加については南センターを中心に
お願いする件。
当日に被災地支援のカンパと物産の販売についての件

- ① 11月11日(月) 第2回東新部評議会準備会
南センター 16:00~18:00
- ② 11月16日(土) 第2回東新部評議会
東京YMCA本部(早稲田) 6F
12:00集合 13:30~
- ③ 寺門文雄ワイズからの今後の組織体制の在り方
について、9月以降の東新部の運営を含めての実
行可能な組織体制づくりについて
友の会を正式に発足させた件。
候補者選びについて。朝倉会長のレジュメをた
たき台にしたアクションプログラムの作成と年
間スケジュール表の作成
- ④ その他
世田谷区との関係について

※ 南センター・バザー開催

週末ごとの台風で、心配された天気も晴れた、10月20日(日)、リーダーたちによりハロインバージョンに飾られた南センターで恒例のバザーが開催された。献品ブース、子供たちのゲームコーナーに加えて、今年は、故・富田会員のお孫さん山田悦子夫妻による年齢をゲーム感覚で判断できる診断コーナーが加わり。

会館前の路上では、焼きそば、ポップコーン、じゃがバター、豚汁を販売するリーダーたちの元気な売り声に、道行く人々も足を止めて。そして、メインイベントの餅つきには、かわいい子供さんも参加し、リーダーとワイズが一丸となったバザー開催は最後のご苦労さん会で最高潮に盛り上がり、無事お開きとなった。



✽ 希望が丘保育園【ねがい】のガーデニング

秋とは名ばかり雨天続きの日々の中で、珍しく快晴に恵まれ、来春の美しく咲き誇る花々を連想しながら球根等の植栽を行った。



この数か月間に亙り、球根等を新潟の産地から取り寄せ、作業道具の購入・小原さんの長年交流先の花栽培園芸家の練馬ガーデンを訪ね市価の半値程の価格で仕入れることが出来た。準備が整い世田谷ワイズ朝倉会長、小原・川島・松井・寺門・友の会より故チャーターメンバー富田さんの孫娘の山田悦子さん達が駆けつけ久しく泥に塗れながら植え付けを楽しんだ。しかし、まだ広い園庭環境にとり、やっと5合目に達した思いですので楽しみは続き、これからが本番と云ったところでしょうか。

大都会の中の無機質なコンクリートジャングルに囲まれた環境の中での子育ては、人の手によるぬくもりのある知恵を働かさなければ達成出来ないだろうと思われま。希望が丘団地という壮大な場所を提供されたことを最大に生かした保育がなされるように隣人愛の実践を目指すYMCA保育事業を支援して行きたいと思ひます。

母性本能に裏付けされた保育士に抱かれた幼子の清らかな澄んだ目を見つめていると、この子達の未来が平安な世界になります様にと祈るのみです。

世田谷ワイズは、希望が丘の地で保育園事業を側面から支えられる奉仕の場を与えられ盛んな活動が展開できることを願っています。(寺門 記)

✽ 関東東部の部大会に出席しました。

金丸満雄(東京ひがし)部長の関東東部は、東京江東・千葉・東京グリーン・埼玉・東京北・所沢・東京ひがし川越・茨城・東京ベイサイドという10クラブからなり、東日本区のワイズ運動の中核をなしています。私は、東新部の部長として、去る10月5日おなじみ東陽町センタ

ーYMCAホールで開催の第23回の部大会に列席しました。

伝統的な部大会の進行。セレモニーに続く講演会と懇親会ですが、懇親会は東京江東クラブ60周年のお祝いに合流するというプログラム。講演は、熱海クラブの栗本治郎さん・札幌慶一さんで、会員増強の取り組みに邁進しよう!というものでした。

また第一部で部の事業主査4名と新クラブ設立プロジェクトの発表がなされました。今年の東新部では、割愛し部報に回したプログラムです。懇親会には都合で参加できず残念でした。

(小川 記)

✽ 国際通信より NDERF

東日本区ではアジア太平洋地域に対しても台風被災地への支援をお願いしておりました。

NDERF(Natural Disaster Emergency Relief Fund)に対する5,000米ドルの申請が本日、田中アジア太平洋地域会長を通じて受理・承認されたことが通知されました。

アジア太平洋地域が我々に示された友情に心より感謝を申し上げます。



(東日本区書記 山下さんより)
**Jacob Kristensen 氏が
2019/2020 の次期国際会
長に**

9月に突然逝去された
2019/2020 次期国際会長
Poul-Henrik Hove Jakobsen

氏の代わりに国際投票の結果、デンマークの Jacob Kristensen 氏が選ばれました。

Jacob 氏は教師をリタイアしています。1981年にワイズダムに加わりました。

2007~2010 間 ICM を務め、2010年にヨーロッパ AP に選ばれ、その他 YMI のいろいろな委員を務めました。

✽ 会長通信 1911

10月20日に東京YMCA南センターで、恒例のバザーが開催されました。バザーの収益金は約20万円で前年を若干下回りましたが、当世田谷クラブにとって、大変意味のあるバザーとなりました。YMCAリーダー、ワイズメンズクラブメンバー、リーダーのOB、OGの6名からなるバザー準備委員会の周到な準備と計画により、これらリーダー、OB、OG、ワイズメンズクラブのメンバーからなるスタッフ40人以上の方々がバザーの応援に駆けつけてくれました。この中には、東京YMCAが、7月に立ち上げた世田谷区希望が丘の“願い”保育園からも3名の方が駆けつけてくれました。バザーでは、餅つき、ポップコーン、茹でジャガイモ、かぼちゃ、秘伝のレシピーを使ったけんちん汁等の食べ物、各種のゲームを提供し、地元のお客様に喜んで頂きました。当日参加してくれたリーダー、OB、OGの間だけで6年の年齢の開きがありま

したが、ワイズメンズクラブのメンバー、YMCAの会員の少年の間では実に71才の年齢差がありました。最高齢はワイズのメンバーの82才で、最年少はYMCAのプログラムに参加している11才の71歳でした。今世田谷クラブの平均年齢は70才を超えているのですが、少子高齢化という現実を前に、この世代間ギャップをどの様に克服するかというのは、切実な問題です。寺門ワイズの提案により、“ワイズ友の会”を作り、クラブの門戸を開く努力を始めましたが、このような世代ギャップを認識するにつけ、短期的に埋めようとする事は不可能に近いので、10年、20年という長期の視野を以て当らなければならぬと思われまふ。従って、これは、まさにワイズの信条にある、地域で支援を必要とされる方々を、YMCAやその他の個人、団体と協働、協同で継続的にお助けするという事につながるのではないのでしょうか？我々高齢化したメンバーは、体力、気力は加齢により衰えていく事は否めませんが、知力は努力により維持する事が出来ると信じています。この知力を振り絞って、地域での奉仕事業を、YMCAを始めとする他の団体、個人とを結びつけ、この奉仕事業を持続的に継続する事が我々の社会的な存在の意義になるのだと思ひます。我々の周りには、色々な支援を必要とする方々が存在します。間違いなく社会的ニーズは存在しますし、今後ますます拡大して行きます。これらのニーズを捉え、お手助けする事が我々ワイズクラブの存在意義ではないのでしょうか？今回のバザーは、我々の中に内在する世代の間のギャップを再確認させてくれたと同時に、地域でどのような事が必要なのかを再認識させてくれました。

さはさりながら、我々には、30～40年という時間的余裕はありません。それだけに我々のクラブの目の前にあるニーズを必要とされる方々の支援を実行に移し、それに加わって頂ける方々を友の会の考え方を使って広げてゆく事が可能だと思ひます。

(朝倉 記)

* 今後の卓話予定

12月 クリスマス
ティム・クックさん

* 今後のスケジュール
クリスマス会

※ 東京世田谷ワイズメンズクラブの皆さま

はじめまして。池田麻梨子(いけだまりこ)と申します。子どもたちやリーダーからは「まりりん」と呼ばれています。これからどうぞよろしくお願ひいたします。簡単に自己紹介をさせていただきます。

2006年に東京YMCAに入職し、山手センターに配属され、語学を中心に野外活動や幼児の活動を担当していました。女性職員としては珍しく(初めて!?)男子寮である山手学舎の舎監も担当させていただきました。

2013年にフロストバレーYMCAへ出向となり、2019年9月まで6年間ニューヨークに住む日本人の子どもたち・

家族のために務めてまいりました。これも女性職員としては初めてのディレクターとなりました。

フロストバレーYMCAはニューヨーク州に位置する大きなキャンプ場(山手線一周の広大な敷地を有しています!)で、伝統もあり、毎年2000人近い子どもたちがサマーキャンプに参加します。

山あり川あり湖あり、の自然豊かなキャンプ場です。何より人が素晴らしいです。多様な人を受け入れ、キャンプを通して友情を育み、自分を知り、大きく成長することができる場所です。いつか皆さんにも来ていただきたいです!今年40周年を迎えました。

私自身は、6歳から12歳までの6年間をイギリスで過ごしていました。自己紹介だけ見ると海外生活の長い、一体どんな人なのだろう・・・と思われるかもしれませんが、大阪生まれの関西の血が入った人間です。

不慣れなことも多く、ご迷惑をお掛けすると思ひますが、お気付きのことがございましたら教えていただくと助かります。

どうぞよろしくお願ひいたします。

(池田麻梨子 記)

※ YMCA NEWS

10月19日に東京-フロストバレーYMCAパートナーシップ40周年記念感謝会が東陽町センターで開催されました。

第一部には77名が出席し、パートナーシップの誕生と発展に貢献した本間立夫・恵美子ご夫妻に感謝の盾が贈られ、パートナーシップにゆかりのある4名の方々と本間ご夫妻にメッセージをいただきました。第二部は、現地でのキャンプにかかわったリーダーOBOGや関係者70名が集い、レクリエーションや懇談を楽しみました。

10月20日に南コミュニティセンターのチャリティーバザーが開催され、大盛況のうちに終了しました。約20万円の売り上げがあり、これらはリーダー養成募金のために用いられます。ご協力いただき、ありがとうございました。

東京YMCA・南センターの予定

11月1日(金)～3日(日)

東京-フロストバレーYMCAパートナーシップ40周年記念キャンプがニューヨーク州フロストバレーYMCAで開催されます。菅谷淳総主事、佐藤信也、戸坂昇子、池田麻梨子の他に杉田裕樹、中元美佳、沖津桃が研修として参加します。東京ワイズメンズクラブの佐藤茂美氏も出席されます。

台風19号・15号の支援募金が始まりました。

南コミュニティセンターでは、11月17日(日)の定例活動終了後(17:00～18:00)に経堂駅前にて街頭募金を実施します。

もしご都合がつくようでしたら一緒にお願ひいたします。